平成28年 7月 8日 国土交通省 東北地方整備局 秋 田 港 湾 事 務 所

# 「土木工学を学ぶ学生」(秋田大学)

# 秋田港の港湾工事の現場見学会を開催します

国土交通省が事業を進めております秋田港の港湾工事において、秋田大学の学生を 招待し「現場見学会」を開催します。

震災復興や地方創生を支える社会基盤の整備、防災・減災など、土木技術者に大きな期待が寄せられているなか、当事務所においては、土木業界の将来を担う生徒・学生たちの今後の進路選択の一助となるべく、また、知識の習熟と土木・建設業への興味・関心を高めていただくことを目的に、現場見学会を開催しています。

今年度4回目(年度内最終)となる今回の見学会では、国内最大級の浚渫船を使用する浚渫工事や秋田港の先端に位置する防波堤への上陸のほか、秋田の経済を支える国際海上コンテナターミナルなど、秋田港の利活用状況の紹介を予定しております。

#### □開催日時

平成28年7月13日(水) 12:50~15:50

秋田大学 理工学部 システムデザイン工学科 土木環境工学コース3年次

※荒天等により日程の変更や中止することもあります。

#### □見学場所

秋田港港内、<u>外港地区防波堤(第二南)基礎工事</u>及び<u>飯島地区泊地(-11m)浚渫工事</u>

発着場所:南ふ頭C岸壁(セリオン前面)

※上記場所の詳細については、別添案内図を参照願います。

※取材を希望される場合は、<u>貴社名、参加者名、連絡先を前日正午(土曜、日曜を除く)</u> までに下記問い合わせ先へ<u>FAX</u>にてお知らせ下さい。(様式任意) なお、乗船人数に限りがありますので、応募多数の場合は別途調整させていただきます。

<発表記者会:秋田県政記者会>

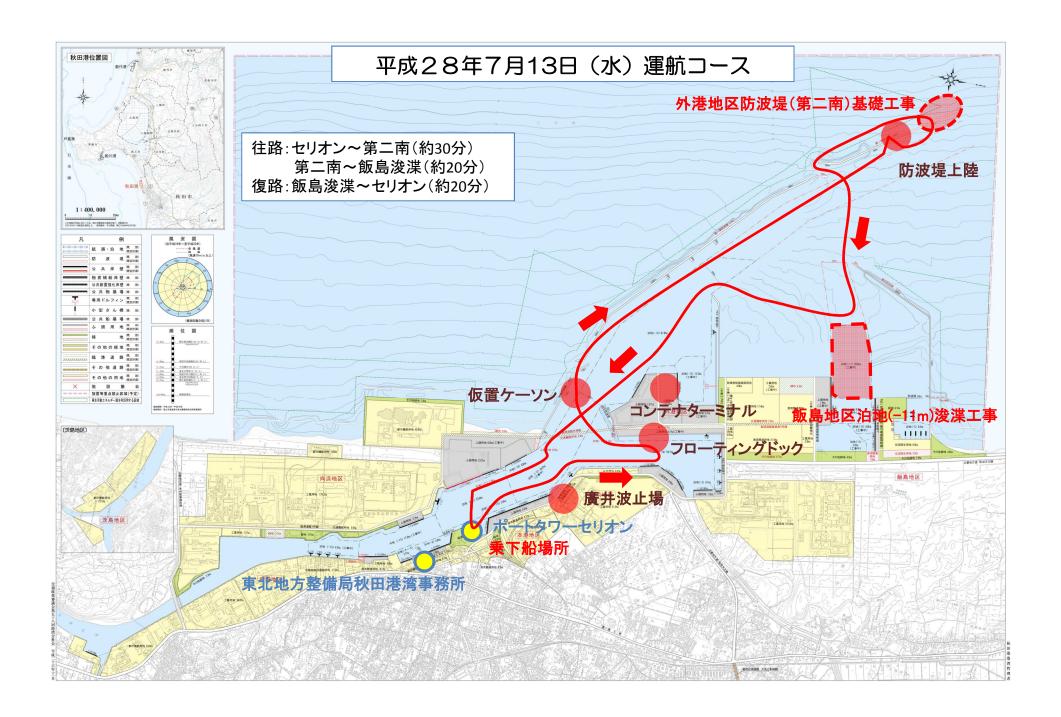
問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 秋田港湾事務所

電話 018-847-2513

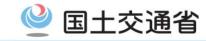
企画調整課長 菊地 隆二

企画調整係長 津谷 達彦





# 平成28年度 秋田港港湾工事 学生向け見学会



- ■昨年度に引き続き、土木を学ぶ生徒・学生を対象に現場見学会を実施。
- ■対象は下記4校、計150名程度を予定。

学校名	日時	対象人数
秋田工業高等専門学校 環境都市工学科	6月15日	42名
秋田工業高校 土木課	6月21日	35名
金足農業高校 環境土木課	6月25日	33名
秋田大学 理工学部 システムデザイン工学科 土木環境工学コース	7月13日	40名

## ~見学会の趣旨~

- ①土木を学ぶ学生に港湾土木の現場を見学してもらい、将来を担う土木技 術者へと育ってもらう為のきっかけとする。
- ②地域の産業、雇用などに港が役立っていることを知ってもらう。

#### 昨年度実施状況

## 秋田工業高校

7月6日(月) (高校生34名)

### ~ポイント~

- ①仮置きしている国内最 大級のケーソンを間近で 見学し、大きさを実感。 ②工事中の防波堤上で
- ②工事中の防波堤上での説明。etc.

#### ■概要

あきかぜ1隻、交通船2隻でセリオン前から第二南防波堤へ移動。工事中の防波堤上でパネルや模型、潜水服を見ながら防波堤工事について説明。





# 秋田大学

7月17日(金) (大学生34名) ~ポイント~ ①寺子屋式の講義。

②セリオン展望台から港湾関連企業等についての説明。etc.

## ■概要

あきかぜからの港見学、セリオン展望台からの港見学、セリオンプラザでの「土木技術者の仕事」と題した所長による講義。





# 秋田高専

9月16日(水) (高校生44名) ①工事中のケーソン、防 波堤上での説明。

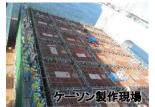
~ポイント~

②2班に分け、ローテーションでの実施。etc.

#### ■概要

見学班はあきかぜ1隻、交通船1隻でセリオン前からケーソン製作現場、第二南防波堤へ移動。講義班はセリオンにて防波堤ができるまでのDVD鑑賞や、パネルや模型、潜水服を見ながら防波堤工事について説明。





# 平成28年度 当事務所発注工事の概要

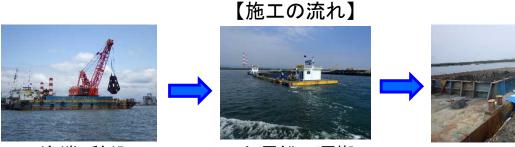


件名:秋田港飯島地区泊地(-11m)浚渫工事

受注者:若築建設(株)

工事概要:浚渫工 49,000m2(土量 約164,000m3)

- 「浚渫」とは、港湾・河川などの水深を深くするため、水底をさらって土砂などを取り除くこと。
- 今回使用する船舶(第11平成)は、国内最大級の浚渫船。
- ・グラブが一度に掴める最大土量(30m3)は、一般的なダンプトラック(10t積み)に換算すると 約5台分に相当。(土の比重:1.8t/m3で換算)



浚渫•積込

土運船で運搬

揚土•陸上仮置



【グラブ浚渫船 第11平成 概要】※青木組パンフレットより抜粋

使用グラブバケット:30m3(グラブ重量65t)

# 件名:秋田港外港地区防波堤(第二南)基礎工事

受注者:(株)加藤建設

# 工事概要:基礎工 88m(基礎捨石 約7,000m3)

- ・一般的に「防波堤」と呼ばれるものは、「ケーソン」(フランス語で箱)と呼ばれる鉄筋コンク リートで出来た巨大な「箱」であり、安定性確保のため、下部には石積みの基礎を施工する。
- ・基礎マウンドの厚さは約3m、使用される石材は1個あたり200~500kg程度。

# 【施工の流れ】



積込•運搬





潜水士による荒均し

秋田港(外港地区)防波堤(第二南)標準断面図

